

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
絆をつなぐ家	福島県全域

グループの特徴とメッセージ

故郷を避難している方々が、戻る迄の中長期の生活を楽しみ、新しい時代への希望を持たせるプランと家づくりを行うことが、私達の基本コンセプト。

以前の居住地へ帰ることを目標とするので、土地は定期借地権が基本方針とし、地域コミュニティを大切にすることで、住居は連続型のコンドミニウムがイメージ。場所も町村役場と連携を取り、将来に向けた適切な選定を行います。

メンバーは、福島県建築士会に所属する住宅の設計施工を行う建築士が中心となり、各マネージメントも行うので無駄なコスト削減につながり、アフターフォローまで安心です。

避難している方々が、故郷に希望を持って戻れる手助けを行いたいと思っています。

グループの基本情報

グループ名称	復興家づくりの会 RTN
所在地	福島県郡山市安積町南長久保 2-27-1 (株)エアコーポレーション内
結成年月	2011年1月
グループ形態	任意団体
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計 23 社 原木供給 : 0 社 製材 : 2 社 建材流通 : 3 社 プレカット : 2 社 設計 : 3 社 施工 : 7 社 その他 : 6 社
代表者名	佐久間宏一(株式会社エアコーポレーション代表取締役社長)
主な受賞歴・活動内容等	

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,000~1,500 万円
価格の基準面積	75~100 m ²
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績 (年間)

建設戸数* (木造戸建)	50 戸
うち地域材活用の住宅	2 戸
うち長期優良住宅	2 戸
グループとしての施工実績	なし 戸
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	100 戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	

※参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	佐久間宏一	メール	postmaster@airco.jp
電話番号	024-937-0041	F A X	024-946-4101
ホームページ	http://www.airco.jp		
自由記入欄	佐久間携帯：090-8928-3168		

復興家づくりの会 **RTN**

地域型復興住宅のイメージと特徴

■久留米の家→

家の中に居ながら四季折々の自然を感じてくつろげる、大きな空が見上げられるリビング・ダイニング。無垢材のフローリングからは、木の温かみを感じます。キッチンにはさまざまな工夫を施し、快適な空間となっています。

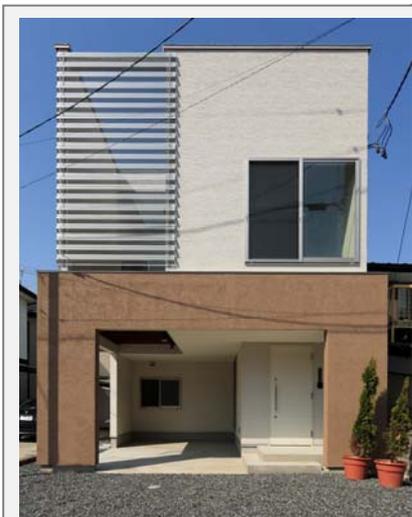
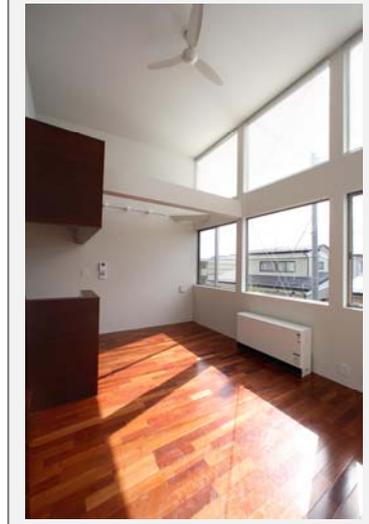
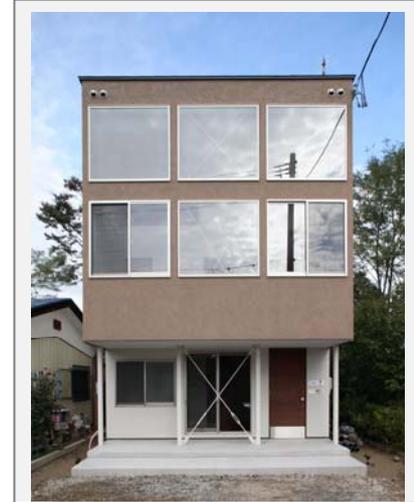
■桜木の家↓

光と遊ぶ・自分らしい時間がテーマ。

約 25 坪の狭小地でありながら、広く快適に暮せるように、巧みに外部空間を取入れるなど、工夫された間取り。

コンパクトで使いやすいのが、丁度良い。

マンションでは味わえない、一戸建ての良さ-土地が小さいからこそ、楽しさ・贅沢さがあります。



桜木の家のご概要

構造	木造軸組工法	床面積	敷地面積：81.99 m ² 延べ床面積 84.76 m ² +ロフト 13.25 m ²
設計	株式会社エアコーポレーション	施工	株式会社エアコーポレーション
施工費	1,800 万円（設計費用は除く）	備考	—

設計方法や地域材活用に関する特徴、性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■ サンルームダイニングのある家

- 無駄を省き機能的な間取りながら、ゆとりと開放感に溢れたプランと、高品質なデザイン。
間取りの可変も容易なオープンプラン。
- 木造2階建て・在来工法・ベタ基礎・オール電化
- 屋根：ガルバリウム鋼板葺き・外壁：サイディング張り・内部床：コンクリート金コテ(床暖房)、フローリング張り・内部壁天井：クロス貼

主に活用している地域材について

地域材の名称	福島県産材
樹種	杉、アカマツ
産地	福島県
認証制度等	—
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	放射能を測定し、基準値以下の材料を活用します。



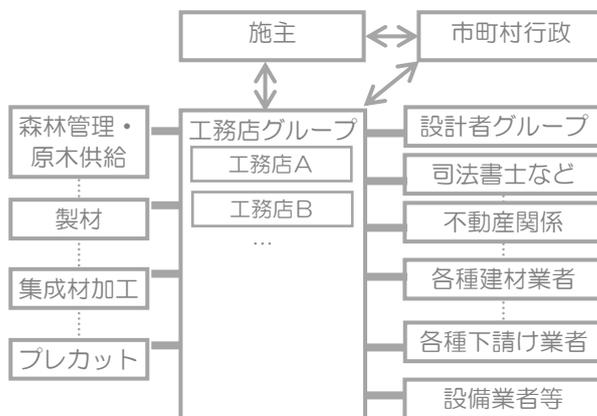
地域住宅生産者グループ

復興家づくりの会 **RTN**

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■無駄を省いた総合力

RTNは、福島県建築士会に所属する住宅の設計施工メンバーのドリームチーム。それぞれのノウハウを持ち寄り、生産供給や流通資材の調達力を高めます。プロジェクトマネジメント（PM）やコンストラクションマネジメント（CM）のノウハウも持ち合わせます。



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■地元建築士による設計施工一貫方式

施主と相談すると同時に、施主の市町村とも相談を行い土地の選定を行います。自宅から車で30分程度の土地を選定すれば、そこを復興住宅（ベースキャンプ）として地域の除染活動を行い、後々帰るための礎とします。

帰宅して空いた住居は、アパート経営することも可能ですし、行政の施設にすることも良いと思います。

土地は定期借地を基本として、費用を抑えたいものです。

数戸の連続した形態を取り、地域のコミュニティーの絆を大切にします。

担当する建築士メンバー（設計施工工務店）が、サンルームダイニングのある家を、基本プランとして、施主のご要望を取入れてアレンジし直します。

銀行との融資相談も、同時に行い、具体化していきます。

住宅瑕疵担保保証会社の検査を経ながら、適切な施工を行います。

引渡し後のアフターサービスも、引き続き同じメンバーが行うので安心です。